



特定非営利活動法人事業継続推進機構

一般財団法人危機管理教育&演習センター

一般財団法人 DRI ジャパン

特定非営利活動法人危機管理対策機構



——災害に立ち向かう企業づくり——

■ 想定外への挑戦 ～大都市圏 M9～ 開催の経緯

1997 年から米国 FEMA で行われていたコミュニティ（住民、企業）を中心とした災害対策「災害に強いコミュニティづくり」プロジェクトインパクトの手法を日本において米国 FEMA の協力を得てコミュニティ一人一人が自ら行動し、お互いに協力し合えるしくみを構築するための防災教育プログラムを特定非営利活動法人危機管理対策機構が日本流に開発し、2000 年西東京市（田無市）内の一部のコミュニティでパイロット事業をスタートしておりました。1999 年の米国経営者が参加した「プロジェクトインパクトサミット 99」を参考に、2001 年から千代田区と連携し、企業同士が集まる「災害に強い企業づくり」を行われてきました。

東日本大震災を受けて、昨年、新潟県で開催された 2011 年国際危機管理・事業継続サミットにおいて、BC を推進する団体が集まり、これからの危機を乗り越えるための共同宣言「東日本大震災を教訓に、危機管理・事業継続に関して引き続き相互連携を図り、社会の危機対応能力・事業継続能力を高めていきます。」という調印を行いました。

このたび、危機管理、事業継続を推進する団体が共催して、関係機関と積極的に連携して「想定外への挑戦」をテーマに各地で継続して開催することになりました。

■ D-PAC プロジェクトとは

Disaster - ProActive Corporations

ディザスター プロアクティブ コーポレーションズ

（災害）－（立ち向かう）－（企業の集まり）

Disaster - ProActive Communities

ディザスター プロアクティブ コミュニティズ

（災害）－（立ち向かう）－（地域の人々）

「D-PAC プロジェクト」は、行政任せ、経営者任せ、他人任せではなく、コミュニティに共存する企業の人々が互い知恵を出し、協力し合い、「来たときは来たとき」という受身の考え方ではなく、「来たときにどう対処するのか」「自らで考え」という前向きの考え方で災害に対して前向きかつ、積極的取り組み、災害に強い企業、コミュニティを目指していくプロジェクトです。

■ 想定外への挑戦 ～大都市圏 M9～の目的

1. 想定外への挑戦

修練の場(事業継続能力の向上と日常のビジネスへメリットを生む)

2. 世界に発信できる BC(事業継続)のベストプラクティスの追求と共有

日本モデルの BC(事業継続)を世界一のベンチマーキングに引き上げる

3. いざという時に協力し合えるネットワークづくり

日ごろから顔の見える関係づくり

■ 問合せ

D-PAC プロジェクト事務局 特定非営利活動法人危機管理対策機構 TEL:03-3519-6270 細坪